

②居酒屋研究会(有志の会) 岡日出夫(文学部卒)

居酒屋研究会、略してイザ研。白門57ネット呑兵衛サークルです。都道府県各地の日本酒・焼酎、首都圏の名店を、健康を損なわない程度に研究しています。名前のイザ研の由来は居酒屋研究の略称が通説ですが、イザ飲みに行こうとの元気な掛け声から始まっているとの説もあります。

会の誕生からおよそ10年経過しておりますが、会の性質上どのときに第1回イザ研だったのか判明しており、今期はその辺の会史も紐解いてみたいと思っております。毎年2度開催しておりますが、残念ながらコロナウイルスによる緊急事態下から全く活動ができておりません。感染状況をにらみつつ再開のときを探っている次第です。

さて第二の人生のスタートとなる私たち世代。そのよき啓発の場となることも願いつつ、今後開催してまいります。役員有志の活動の場から、会員の皆さんへの案内も検討しております。お店の規模にもよるので大宴会というわけにはまいりませんが、楽しく集い懇親を深めましょう。



③ゴルフ研究会(全会員向けの会) 平輪貢(法学部卒)

ゴルフ研究会(略称シバ研)ではこのコロナ禍にあっても活動を休止することなく、参加可能なメンバーで春・秋の年2回、定期的にコンペを開催してきました。ゴルフは4人単位と少人数でかつアウトドアで一日を過ごせること、施設の感染症対策も万全であることから、コロナ禍でコミュニケーションを図るには最適なスポーツであると感じます。

定例となる春季・秋季のゴルフコンペはいつもの大月カントリークラブで開催し、春季(5/15)が3組11名、秋季(11/3)が3組10名の参加となりました。結果は春季。秋季とも私(平輪貢)が連続優勝させていただきました。いつも天気にも恵まれ、和気あいあいと楽しくやれるのがこの会のいいところです。皆さん還暦を過ぎて仕事もひと段落、これからはゴルフにも参加できそうという方も多いのではないのでしょうか。女性ゴルファーがまだ参加できていないのも寂しいところです。

今回の春季ゴルフコンペは来年5月27日(土)に大月カントリークラブで開催予定です。シバ研はゴルフを通じて同期の親睦を深めるのが目的ですので、皆様お誘い合わせの上多数のご参加をお待ちしております。



57 ネットでは上記①、②のような有志による活動のほか、③のような全会員向けの活動も行っています。今後はこの57 ネット通信やホームページなどで会員の皆さんにもご案内していく考えです。参加したい方がおりましたらお気軽にお声かけください。

オンライン駅伝応援会開催報告 乗兼浩明(法学部卒)

「予選会って、今でもやってるんですか？」すみません。余裕かましてみました。何せ、中央大学が「出雲」「全日本」「箱根」の三大駅伝にフルエントリーするのは10年ぶりとか・・・。応援にも力が入ろうというもの。というわけで、去年に続きテレビ放映を見ながら有志による「ウェビナーゆるゆる応援」を実施しました。

10月10日(月・祝)は、今期の仕上がりを占う「出雲」。実は、私たちはこの駅伝をちゃんと見た経験がなく、短路のスピードコースということもあり、あれよあれよという間にまさかの3位!しかも青学との競り合いに勝利しての結果に、一同少し落ち着かない想いを抱えながら、歓喜の声を上げました。

続く11月6日(日)「全日本」は序盤で首位に立った駒沢大の選手たちがずっとアップでしたが、その中であって6区吉居大和君はしっかりテレビにも映っての「区間新」。さすがの快走でした。結果的にトータル順位は7位と来年のシード権は獲得しました。

さて、いよいよお正月の「箱根」に期待がかかるころですが、個人的には吉居兄弟のたすきリレーを見たいと思っています。2区を区間賞で走り終えた大和君が、自分の汗がしみ込んだたすきを駿蒸(しゅんすけ)君に渡し、背中をバチバチたたいて弟を初めての箱根路に送り出す。考えただけで、ワクワクしますね。お正月も57会員の「ゆるゆる応援」を企画します。是非のぞいてみてくださいね。



編集後記

白門57ネット通信は2014年に第1号を発行し、今回は第9号となります。第8号からイベント報告、分会・研究会だより、アンケート、自由執筆など、会員情報が増えました。白門57ネットホームページにも、最近の活動を紹介していますので、ぜひご覧になってください。

白門57ネット通信を発行するにあたり、原稿を寄せてくださった皆様に心より御礼申し上げます。後山哲三(経済学部卒)



「白門57ネット」を一緒に作っていく仲間になりませんか

白門57ネットでは現在、全国で47名の役員・運営委員が活動中です。会長、副会長や支部幹事長といった役職以外にも、情報管理役、会計役、監査役、イベント企画役、広報役、北海道分会、関西分会、九州分会など役割は様々ですが、それぞれが責任をもって自らの職務を遂行しています。役員・運営委員会は定期的に開催され(現在はオンライン開催が中心)、総会や各種イベント開催時などは活発な意見交換がなされています。

そんな活動の中から個人的なつながりをベースに趣味のサークル(上記研究会など)なども生まれてきており、そのことは会員相互の親睦を目的とするこの会の本来の目的にも合致していますし、何よりもこれから始まる皆さんのセカンドライフを充実させることにつながっていくのではないのでしょうか。

世の中はダイバーシティ&インクルージョンの時代です。私たちが常に新たな人材、新たな発想を求めています。会の活動に参加してみたいという方がいましたら、白門57ネット・ホームページの連絡フォームよりお申し込みいただくか、お知り合いの役員・運営委員を通じてご連絡ください。一人でも多くの参加をお待ちしております!

白門 57 ネット通信



発行者 中央大学学員会 57ネット支部 <http://hakumon57net.jimdo.com/>

2022年(令和4年)12月1日(第9号)

目次

会長挨拶	p1
落語会開催報告	
アンケート結果報告	
『これからの暮らし』会員執筆	p2
全国分会だより	p3
(北海道、関西、九州各分会)	
各種研究会活動のご紹介	p4
オンライン駅伝応援会開催報告	
編集後記	



会長挨拶 浅野昌宏(経済学部卒)

とになっています。昨年の「白門57ネット通信第8号」でお話ししました通り、2022年に白門57ネットとして大学に寄付を行いましたので、我々の銘板もどこかにあるはず。来春以降駿河台キャンパスを訪問された際にはぜひ探してみてください。

さて、我々は大学卒業から40年が過ぎました。還暦を過ぎた辺りから時間に余裕のある生活が出来るのかと考えていましたが、今の時代まだまだ我々、現役ですよね。(笑)。

63~64歳ともなると新たな友人を作るのはなかなか大変です。しかしながら40年前にあの多摩校舎・後楽園校舎で青春を過ごしたという事だけで友人になれる同期会と言うのは掛け替えのないものだと思うのです。昔を懐かしむもよし、今夢中にならているモノの同好の士を見つけて楽しむのもよし。同期会の楽しみ方はいろいろ

ろです。まだまだ直接会って話をするのは難しい状況ですが、今の時代オンラインを使う方法もあります。

これからの人生をちょっと膨らませるために同期会を使ってみませんか。皆さんのご参加をお待ちしています!今後とも白門57ネットをよろしくお願い致します。



「白門57ネット落語会(リモート寄席)」開催報告 藤掛時久(商学部卒)

恒例の「白門57ネット落語会」を2022年7月10日(日)にリモート形式で開催しました。

57ネットは北海道、関西、九州の3地域に分会があり、これらの地域にお住まいの方々にもお気軽にご参加いただけるよう、また新型コロナウイルス感染も中々収束の兆しが見られない等を判断して、ZOOMを活用したリモート形式の落語会として開催しました。

本年も昨年演者を務めていただいた林家つる子さんに出演をお願いしたところ、ご多忙にも関わらず快諾していただきました。



落語会の演目は「子別れ」。離縁のため父親と離れ離れになっ

た子供とその父親が偶然再会し、その子供の橋渡しによって父母が再開し、よりを戻すという古典落語です。その演目について、つる子さんが男性演者とは1味も2味も違う女性目線を加味していただきながら演じてくださいました。予定時間を10分もオーバーするほどの熱演を披露していただきました。

来年の開催については、コロナが収束していることを祈りつつ、対面およびリモート形式を組み合わせ「白門57ネット落語会」を開催してみたいとの機運も出てきています。若い世代に負けない

ように挑戦していきたいものです。

お忙しい中「白門57ネット落語会」にご参加いただいた皆様、楽しんでいただけましたでしょうか。来年の「白門57ネット落語会」についても多くの方々にご参加いただけるよう企画して参ります。



『これからの暮らし』『箱根駅伝順位』アンケート結果 池田冬彦(法学部卒)

白門57ネットでは、役員・運営委員を対象に「これからの暮らし」と箱根駅伝順位についてのアンケートを実施しました。その集計結果は下記のとおりです(有効回答数=29)。

質問1. これからの暮らし向きについて(ひとつ選択) 【ぼろぼろ仕事:14% 家でんびり:31% どちらも:55%】 「どちらも」というぜいたくな欲張り派が過半数を占めました。バランスが取れている(どっちつかず?)と評される中大生ならではの回答となりました。

質問2. これからの暮らしで大切にしたいもの(三つまで選択) 【仕事:17% 家庭59% 趣味59% 友人55% 健康86% お金17%】 圧倒的多数が「健康」重視派で、そのあとは「家庭」「趣味」が同数、「友人」と続きますが「仕事」「お金」重視派は少数。みんな経済的には余裕があるのでしょうか。

質問3. これからの社会はどうなると思いますか(ひとつ選択) 【よくなる:18% よくならない:48% わからない:34%】 約半数が「よくならない」派で、「よくなる」派もそうなるってほしいという希望的条件付きが多く、皆さん日本の将来についてはかなり悲観的です。

質問4. 第99回箱根駅伝(2023年1月)における中大の予想順位 【1位:18% 2位:3% 3位:21% 4位:18% 5位:27% 6位:3% 7位:6% 8位:3%】 (最多予想順位:5位、平均予想順位:@3.9位) 最も多かったのは5位で、さすがにシード圏外と予想した人はゼロでした。「希望としては」という条件付きで予想した人も多く、かなり上方バイアスがかかっているのではと推測します。出雲3位、全日本7位と来て、さて箱根は何位になるか。

『これからの暮らしについて』 会員の自由執筆

今後の暮らし方について 工藤尚一(法学部卒)

57 ネット広報委員会から「今後の暮らし方について」とのお題を貰った。広報委員曰く還暦を過ぎ、それなりに考えている事を述べよとのこと。大して考えていないことを、見透かされたようだ。

確かに「還暦」を過ぎたが、自分の中では「定年」の印象が強い。いまは雇用延長と言いつつかつての仕事とは全く違うことをやっている。「転職」したというに等しい。それなりに刺激を感じつつ、その日家で飲むビールが美味ければそれで良いという生活だ。「今後」についても考えることもある。が、健康のこと、家族のこと、家のこ

と、お金のこと、考え出すと堂々巡りになる。なので直ぐに棚上げにしてしまう。何故「今後」なんでものを考えてしまうのだろうか。

我が家には、30 年以上前から鉢植えのサボテンがある。特に世話もせずにはおいておいたら徒長してしまっ。なので一度だけ首から上(と思われる部分)をカッターで切って、別の鉢に乗せてみた。動かすとも簡単にひっくり返るので、触らないこと。偶に思い出した時、水をやること。それだけで 1 年。おそろおそろ頭を突っついてみた。すると地面を掘んでいるようにどっしりと動かない。根付いたようだ。

さて彼は、首から上を別の鉢に置かれた時「今後」を考えたのだろうか。棘の色つやのこと、鉢のこと、日当たりや水や肥料のこと、考えだしたらさぞや気が滅入っただろう。彼はじっとしてただけ。その内、根が生え妙にどっしりとして、今は余裕さえ感じる。これは悪くない。

人生「今後」とか忘れて、ビールを飲みながらサボテンのように暮らす訳にはいかないのか。とここまで来て「でもビール代どうすんだ」となる。これで今日はおしまい棚上げだ。また明日「今後」を考えてしまう、62 歳と 363 日目。



仕事・趣味・ボランティア 村松聖子(文学部卒)

若い頃は 60 歳過ぎたおばあさんはんびりと穏やかに過しているものかと思っておりましたが、いざ自分がその歳になってみると今までとたいして変わらずバタバタと暮らしています。

「今後の暮らし方」としては、まず仕事については、週 3 のパートタイマーではありますが、70 歳ぐらいまでは続けるつもりでいます。

それは、20 年間の専業主婦(& 夫の自営業手伝い)の後に 17 年続けてきた「マンションフロントコンシェルジュ」という仕事を気に入っているからです。

もちろん収入のこともあります。が、週 3 ペースで続けることに

よって生活の張りや社会との接点も持ち続けられると思いますので。

仕事以外での今後の目標は、4 歳の時から習っているクラシックバレエを続け、バレエを始めた 2 人の孫、今は仕事や育児でお休みしている娘たちと共に三世代一緒に発表会で踊ることです。

でも、「言うは易く行うは難し」。現に、今年 9 月に出演した発表会の稽古で右膝半月板損傷して現在レッスン禁止中。リハビリに励み早くレッスンに復帰して、目標に向かって進みたいと思っています。

もう一つの柱は地域での民生委員活動。こちらは、5 期・13 年目

に入りましたが、まだまだ模索しながらの活動です。自分が生まれ育ち、娘たちを育ててきたこの地域で、少しでもお役に立つことができたらうれしいなという思いです。

というわけで、これからの私の暮らしは「仕事・趣味・ボランティア」の三つの活動を柱としてバランスよく続けながら、時々の旅行や観劇・コンサートなどのお楽しみで色付けていきたいなと思っています。それにはやはり健康でいることが基本としみじみと感じているこの頃です。



段々、断捨離 山本学(商学部卒)

コロナ禍で長引くテレワーク。ふと見あげた天井の汚れや床の軋み気が気になり始め、キッチン下の漏水に気がつき、「そろそろ家のリフォームを考えねば」と重い腰を上げた今年 8 月。しかし、タイミングが悪かった。コロナや世界情勢不安から資材等が高騰し、提示された見積りの金額に腰が抜けてしまった。

一度は断念しかけたが「ここでやらねばいつやるのか!」と自身に言いかけ、11 月上旬着工を指し断捨離を始めた。断捨離はヨガの教えに基づくらしい。特に「離」は物への執着から離れる事だそう。

日ごろからペーパーレス化についていけない身としては、紙類への信頼度は高めな方だ。自室の片

付け第 1 回目からその洗礼を受けることになる。

引っ張り出した山のような書類の中からすっかり忘れていた初任給から取って置いた給料明細書の束が出土。決して高くは無い給料で深夜 2 時 3 時まで働き、寝る間も無かった過酷な日々。事務所があった銀座で先輩や同僚と盃を交わしながら語り合った時に思いを馳せながらシュレッダーをかけていく。こうして 1 日はあつという間に終わり、処分出来たのは全体のわずかに数%程度だった。

以降、クローゼットからは入社時に買ったコートや床下収納から大学時代の教科書と TOEIC の結果等々、自分でも驚きの不要?物が続々と発掘されていく。こうして家全体の可燃ゴミは 100 袋を越

え、手伝いに来た娘が「ウチってゴミ屋敷だったの?」と呟く始末。苦行でしかなかった片付けは、リフォーム開始当日の午前 1 時まで続いたのだ。

物や情報にも賞味期限があるようだ。見ないでしまひ込むと堆積してただのゴミとなっていく。リフォーム後の生まれ変わった空間をいかに有意義に美しく保つかが今後の暮らしの課題になるだろう。何より断捨離は一気にやるとなれば、体力・気力・判断力、そして何より筋力が必須だ。「段々に断捨離、老体だもの」を motto に心身ともに豊かな暮らしを送りたいと思う。

発見された埋蔵酒でこれからの人生に向けて乾杯でもしよう!



全国分会だより

北海道分会 今『JR 千歳沿線』が熱い! 川尻寿彦(商学部卒)

北海道分会の川尻です。私は現在、街づくりの仕事を地元 JR・地下鉄の各駅周辺でしています。今回ご紹介するのは、北海道に来られた際にご利用機会が多い JR 千歳線沿線の注目スポットです。

まずは新千歳空港駅から四つ目の「サッポロビール庭園」駅です。名前のとおりサッポロビール北海道工場(恵庭市)直結で、名物のジンギスカンと工場直送のビールを味わうことができるスポットです。次は昔は田園だったところが大きく変わった二つの駅を紹介します。

一つ目は「北広島」駅です(上の写真)。皆さんご存知の新庄剛志監督が率いるプロ野球「日本ハムファイターズ」の新球場(来春にオープン)があるところで、俄然注目を浴びています。野球だけでなく温泉や娯楽施設があるボールパークとして期待されています。

二つ目は「新札幌」駅です(下の写真)。地下鉄「新さっぽろ」駅と隣接し混同されないように漢字・ひらがなと表記を変えています。昔はのどかな牧場だったところが札幌の玄関口の街へと変貌し、パークへの直行バスもあり利便性は抜群です。また、郊外には「北海道開拓の村」という建物遺産施設があり、愛知県の明治村には及ばないものの開拓時代の気分を十分に味わえます。このようにいろいろな体験が出来る千歳線、ぜひ途中下車をお勧めいたします。



関西分会 奥田和生(法学部卒)

コロナ禍に見舞われること 3 年余。密状態回避から「リアルな顔合わせ」が困難となり、関西分会でも会合や懇談会を開催できない状況が続いています。

- そんな中、役員各位の近況を報告させて頂くと
- ・逼迫状態が続く医療現場にて医療体制の維持に奮闘する「病院事務長」
- ・女性特有疾患の薬剤情報提供に邁進する「製薬会社 MR」
- ・複雑化する家庭問題の解決支援に専念する「家庭裁判所調停委員」
- ・大規模自然災害被災者への保険金支払い支援に奔走する「損害保険会社社員」

かくの如く各々が今の自分のできる範囲内において(老骨に鞭打ちながら)仕事を続けています。ただ最後に立つのはやはり『神頼み』。第二弾の舞台は和歌山県新宮市。小生が今年 8 月~10 月にかけて和歌山県を襲った「線状降水帯による記録的豪雨災害」の被害査定で新宮市に入った際に参拝したのが、写真にある初代神武天皇が東征の折に上ったとされる「天磐盾(通称:ゴトビキ岩)」。

岩が安置されている神社までは自然石を積み上げた 538 段の険しい階段をよじ登るといふ苦行が待っていたものの、頂上からの太平洋を望む眺めは実に素晴らしいものがありました(日本の歴史はここから始まった?という感動も)。

いずれにせよ、コロナのみならず今や加速化するインフレや霊感商法問題、将来の展望が見通せない年金・介護問題等至るところ難題山積みですが、57 ネットの絆を軸に「山川異域 風月同天」の想いを馳せつつ日々修行を続けたいと考える次第です。来年こそはリアル再会を期待して!!



九州分会 栗本康実(文学部卒)

九州分会メンバーの栗本康実と申します。いつも 57 ネットの本部の方々の活動メールを頭が下がる思いで拝見しています。お忙しい中ありがとうございます。

私事になりますが、私は中央大学ラグビー部の OB です。現役は昨年初めてリーグ戦の 2 部に降格してしまいました。今年は是非 1 部に返り咲いてほしいと OB 一同応援しています。今、駅伝やサッカーワールドカップ、野球 WBC などで盛り上がっていますが、ラグビーワールドカップ 2023 (フランス)も開催されます。

2 年を超えるコロナ感染で大変な状況ですが、その前の 2019 年に日本でラグビーワールドカップが開催されました。日本での開催なので、4 年に 1 度じゃない、一生に一度だ!のフレーズに踊らされて、頑張って決勝まで 48 試合ある中の 10 試合を観戦しました。日本代表の活躍もあり、ラグビー熱もあがり、にわかファンの方も多くなったとききました。いろんなスポーツを応援される中、ラグビーも加えていただければと思います。

ワールドカップ前の日本代表の宮崎合宿での選手とのワンショットです。変なおじさん(私)が写っていますが、ご容赦ください。練習後は写真 OK でしたので、一緒に撮ってもらいました。仕事では?などと想像はご勘弁ください。これからもよろしくお願いいたします。



各種研究会活動のご紹介

①トリップ研究会(有志の会) 乗兼浩明(法学部卒)

毎年役員有志での旅行を実施しておりましたが、残念ながらまだ再開を断念しています。そこで今回は旅にまつわる小ネタを…。人間の脳は右と左で役割が違って、右脳は「感覚・五感」を、左脳は「数字・言語・論理の記憶媒体」をつかさどっているそうです。例えばスクランブル交差点では、右脳(視覚)はすべてのすれ違う人々の顔認証を行い、その中から「気になる情報」を左脳の記憶媒体と付け合わせ、瞬時に…「あっ!浅野会長だ!!」となるわけです。誰に合うかわからないのに常にフル回転。都会の人の右脳は疲れるはずですよ。脳を休める一番の方法はもちろん睡眠ですが、起きていてもリラックスさせるには「静かに動く景色に身をゆだねる」のが良いそうです。「トンビの鳴き声を遠くに聞きながら、山にかかる雲の動きとゆっくり沈む夕日をぼーっと眺めている」「うす暗くなり始めた海辺で、そよ風を頬に感じ、波の音聞きながら、遠くの飛行機の瞬きを静かに目で追っている」そんなイメージです。どうですか?旅に出たくありませんか?